

国道153号に両小野バイパス早期実現



新政治家
よこざわ
横沢 英一

その他の 質問事項

- ▼ 食品ロス削減に庁内関係課の連携は
- ▼ 現道善知鳥峠の堆雪帯設置工事の内容は

設計・発注・施工の各段階で、発注者の側に立つて、技術的な中立性を保ちつつ発注者の側に立つて、

*CM方式とは
(新体育館プロジェクト)

市場価格の急激な上昇、合併特例債期限の厳守、大空間建築物等、事業計画段階で市の求める要望を詳細な建築計画、事業費の精度を高め、当初予算で納めることができた。

◆**新体育館の評価・検証**
*CM方式採用効果について。

調査範囲はみどり湖口から、JR小野枝垂れ栗踏切付近約7kmを予定する。(建設課)

◆**バイパス事業に調査費**
問 国道153号両小野バイパス事業に、調査費500万円が初めて付いたが、内容は。

答 今回の調査業務は国道の交通状況や周辺の地形地質の文献調査実施、現国道の問題点を検討。

階において、設計の検討、工程管理、品質管理、コスト管理などの各種のマネジメント業務を行うもの

◆オンデマンドバス

問 導入と自動運転の結果について。

答 自動運転は4日間で20回運航、基本的な操作等は、システムが制御し塩尻駅を中心に5kmを最高時速40kmで走行できた。

今後市街地ゾーンの移動はオンデマンドバス、既存集落区域は地域振興バス対応。令和3年度から令和4年度から計画的に転換する。

(都市計画課)



善知鳥峠への堆雪帯工事が進む

感染・事故・犯罪から市民を守るために



公明党
やまぐち
山口 恵子

その他の 質問事項

- ▼ 地域公共交通と危険なバス停について
- ▼ 産科医等の医学奨学金制度について

◆ワクチン接種体制

問 新型コロナウイルス接種は一人一人が納得し判断できるように情報提供が大切。接種は完全予約制だが一日の予約数は。キャンセルが出た場合の対応はどうか。

答 集団接種は土曜日180人から240人日曜日は360人から480人を、個別接種は基本型接種施設で40回、サテライト型接種施設で10回を想定している。予約時にキャンセル待ちの対応について確認を予定している。

(ワクチン接種推進室)

◆小児の救急医療体制

問 市内小児科診療は医師不足が深刻。夜間の救急対応は松本市が運営する「小児科・内科夜間急病センター」で19時から23時まで受診できる。市境の「まつもと医療センター」での診療を望む声があるが対応はどうか。

答 市内小児科はここ数年で3か所減少し現在7か所となった。夜間診療は市内に無く、松本市の夜間急病センターを受診した市民のうち7割が小児科を受診している。子育て世代の不安解消のため、夜間診療について、まつもと医療センターの意向を確認し松本市と協議を重ねたい。

(健康づくり課)

◆駅前駐輪場の防犯対策

問 自転車の盗難被害が多発している。対策は。

答 定期的な巡回と防犯カメラを塩尻駅、広丘駅に合計25台設置し適正な管理をしている。

(都市計画課)



JR広丘駅西口駐輪場